

令和7年10月1日
都市局都市計画課

「全国都市交通特性調査」にご協力をお願いします！ ～人の1日の移動に関する調査を実施します～

10月から12月にかけて、「全国都市交通特性調査」を実施します。
皆様の回答が都市交通政策検討の重要な基礎資料になりますので、ご自宅に調査票が届いた場合は、調査へのご協力をお願いします。

○ 全国都市交通特性調査とは？

全国都市交通特性調査は、「どのような人が、どのような目的で、どこからどこへ、どのような時間帯に、どのような交通手段で」移動しているかを把握するため、概ね5年に1度実施している調査です。

「全国横断的」かつ「時系列的」に都市交通の特性を把握することができるのが特徴で、社会情勢の変化や地域特性に応じた都市交通計画・政策検討に活用しています。（別紙1参照）



○ 調査概要

住民基本台帳から対象世帯を無作為に抽出し、対象となった方のご自宅へ調査票を郵送します。調査票が届いた場合は、郵送またはウェブサイトにて回答をお願いします。

調査内容	別紙2参照
対象都市	全国70都市（別紙2参照）
調査対象数	1都市あたり500世帯 ※前回調査（令和3年）では約43,800世帯から回収
調査対象者	調査対象世帯の5才以上の全員 （付帯調査票は18才以上の全員）
調査対象日	2025年10月～12月の指定された平日・休日（各1日）

<参考>

調査の詳細及び過去の調査結果：https://www.mlit.go.jp/toshi/tosiko/toshi_tosiko_tk_000033.html

<問合せ先>

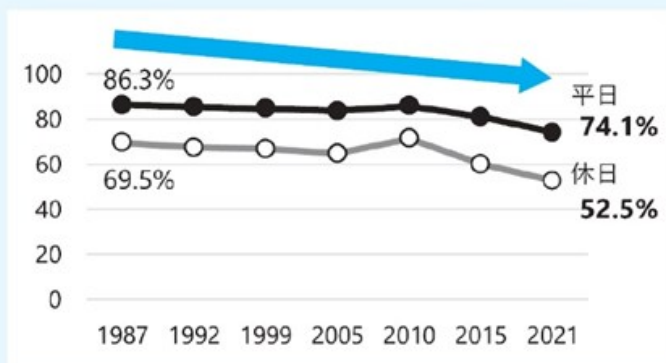
都市局 都市計画課 都市計画調査室 舟波、井上

TEL：03-5253-8111（内線32-672、32-673）、03-5253-8411（直通）

調査結果の活用事例

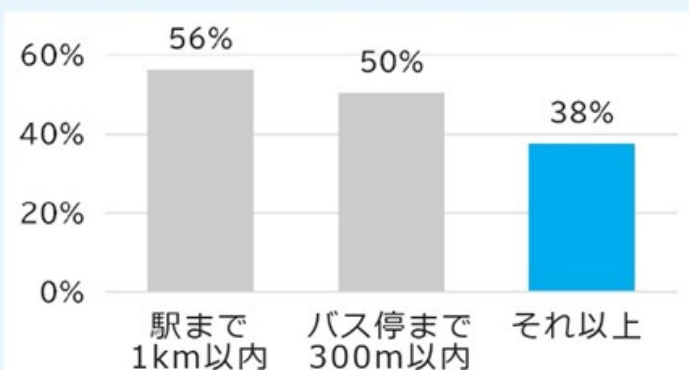
移動状況の経年変化がわかります

外出した人の割合は、特に2010年から減少しています



外出に困難がある人がわかります

免許のない高齢者の中でも、**公共交通が不便な地域の居住者**は特に外出した人の割合が低いです



都市全体の交通計画に役立てます

都市全体の公共交通サービス、道路の整備などの総合交通計画を策定する際に用います



誰もが移動しやすい社会に役立てます

職業や子育て状況、免許返納等に関わらず、移動手段を持てるような交通施策を検討します



都市類型毎に選定した全国70都市を対象に、平日・休日の交通特性を統一的に把握する調査（一般統計調査）

〈調査内容〉

調査票種類	調査内容
世帯票	住所、世帯構成、自動車の保有 等
個人票	移動の有無、出発地・到着地、出発時刻・到着時刻、移動目的、交通手段、乗換地点、在宅勤務状況 等
付帯調査票	自宅での活動時間、外出頻度、活動実施頻度、交通手段利用頻度 等

〈調査対象都市〉 全国70都市

調査主体	対象都市
北海道開発局	札幌市、小樽市、千歳市
東北地方整備局	弘前市、盛岡市、仙台市、塩竈市、湯沢市、郡山市
関東地方整備局	取手市、宇都宮市、高崎市、さいたま市、所沢市、千葉市、松戸市、東京都特別区部（港区、新宿区、文京区、墨田区、品川区、世田谷区、北区、練馬区、足立区、江戸川区）、青梅市、稲城市、横浜市、川崎市、小田原市、山梨市、伊那市
北陸地方整備局	上越市、小矢部市、金沢市、小松市
中部地方整備局	岐阜市、静岡市、磐田市、名古屋市、春日井市、豊橋市、津島市、東海市、亀山市、四日市市
近畿地方整備局	近江八幡市、京都市、宇治市、大阪市、堺市、豊中市、泉佐野市、神戸市、明石市、奈良市、海南市
中国地方整備局	松江市、安来市、総社市、広島市、呉市、大竹市、長門市
四国地方整備局	徳島市、松山市、今治市、高知市、南国市
九州地方整備局	北九州市、福岡市、太宰府市、諫早市、熊本市、人吉市、臼杵市、鹿児島市
沖縄総合事務局	浦添市

